

地域防災の担い手 頑張れ 消防団員!

津消防タイムズ

第18号



ポンプ車操法の部で第二線のホースを延長する消防団員

発行 津市消防本部
〒514-4101
津市久居明神町 2276
編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755
協力 津市防火協会

火災などの
お問い合わせ
224-1881
救急医療情報案内
256-1199

東海地方も梅雨入り宣言しましたが、盛夏を思わせるような絶好の訓練日和の中、六月十七日に北河路町のメッセウィングみえにおいて、恒例の三重県消防協会中勢支会(谷口繁喜支会長)夏期訓練が盛大に行われました。

この訓練は、消防団員としての責務を自覚し、規律厳正な部隊行動と高度な消防技術を身につけるために毎年行われています。

同支会は、津市の各地域(津・河芸・芸濃・美里・安濃・香良洲・久居・志白山・美杉)の消防団で構成され、訓練当日は一志消防団のラッパ隊十一名と女性消防団員二十五名(津・芸濃・香良洲・久居・美杉)を含む三百九十名の消防団員が参加し、訓練に汗を流しました。



夏期訓練に華を添えた一志消防団のラッパ隊

した。訓練では、多数の来賓者が見守る中、各教官の指導のもと、火点を目指してポンプ車や小型ポンプからホースを延長して消火活動に至るまでのポンプ操法訓練や、災害発生時の消防団活動において統制ある行動を執る目的で訓練(各個訓練)が行われました。



救急救命士より心肺蘇生法の指導を受ける女性消防団員

また、女性消防団員は訓練(各個訓練)を終了後、救急救命士指導のもと、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の取り扱い訓練に真剣な表情で取り組んでいました。

なお、東海・東南海・南海地震の発生が懸念されている中、自助・共助の役割を重要視されている消防団員が、時代の流れやサラリーマン化により減少傾向にあるため、本市においても現在、各地域において消防団員を募集しています。あなたのやる気をぜひ、消防団活動に。